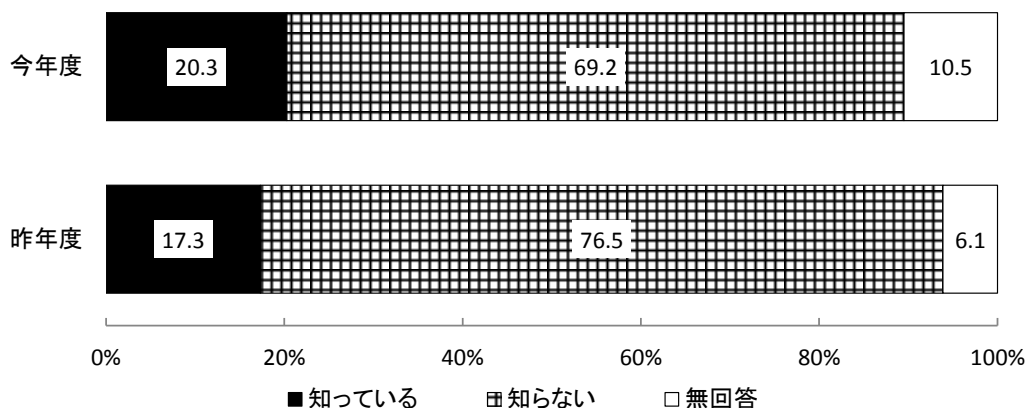


16. コミュニティ・スクールについて

16-1. コミュニティ・スクールの認知状況

Q16-1 山口県では、すべての公立小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組みが導入されており、保護者や地域住民の声を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進しています。あなたは、校区の小中学校が「コミュニティ・スクール」であることをご存じですか。（○は1つ）

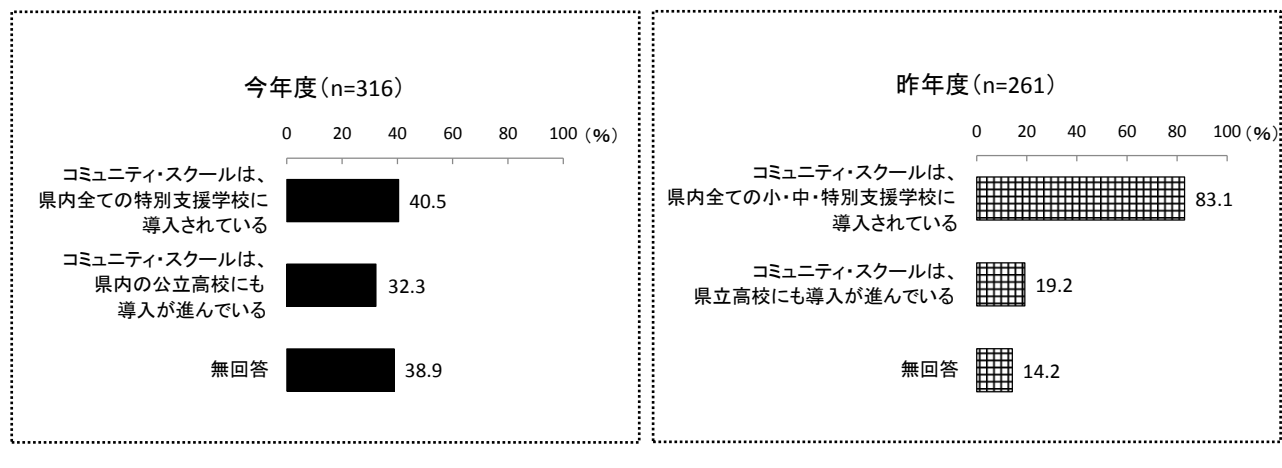


コミュニティ・スクールの認知度について、「知っている」が20.3%となっており、昨年度と比較すると、3.0ポイント上昇している。

16-2. コミュニティ・スクールについて知っていること

【Q16-1で「1. 知っている」と回答した方に】

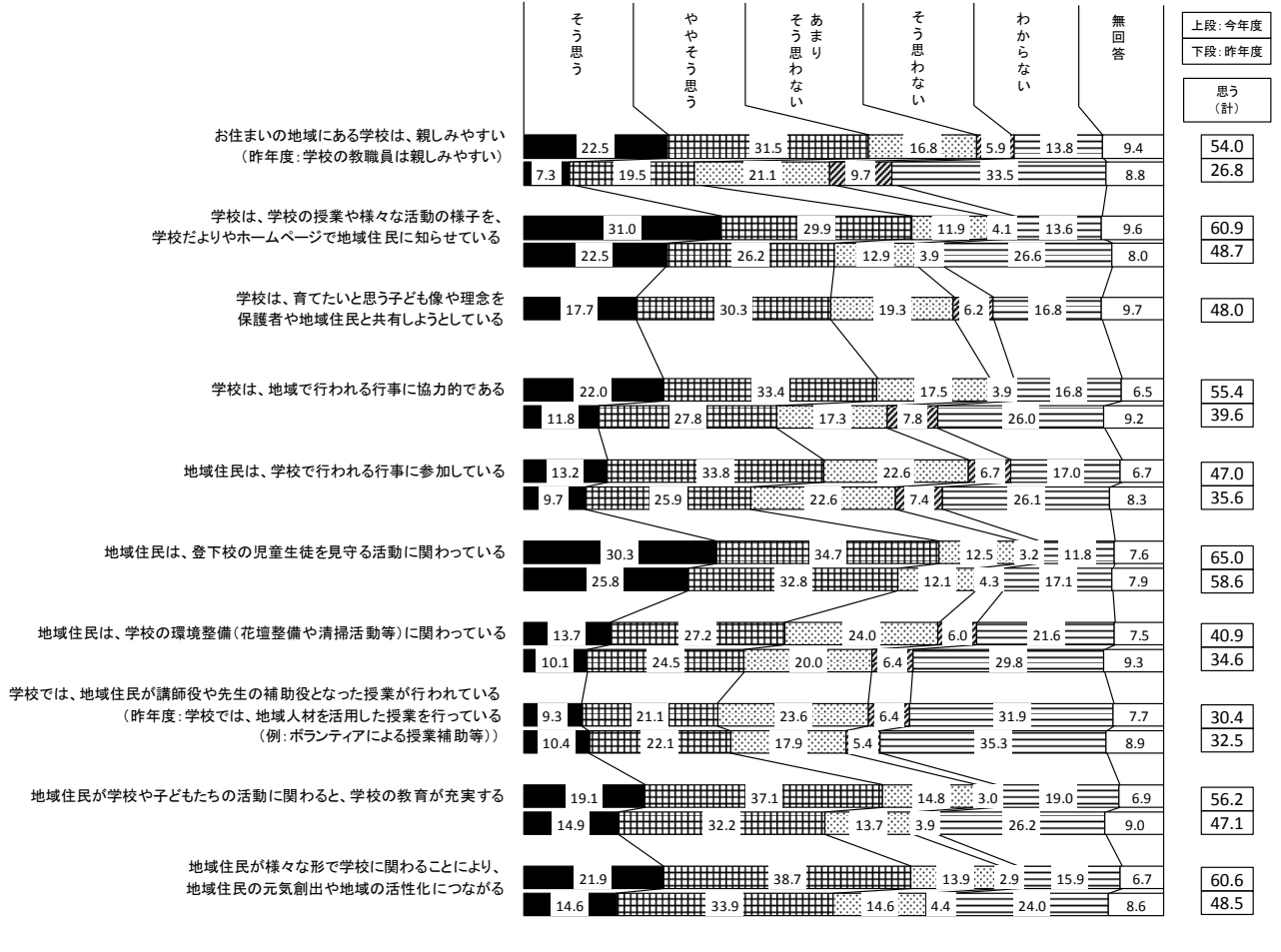
Q16-2 「コミュニティ・スクール」について以下のことをご存じでしたら○をつけてください。（複数回答可）



Q16-2で、「コミュニティ・スクールについて知っている」と回答した人のうち、「県内全ての特別支援学校に導入されていることを知っている」と答えた人は、40.5%であった。（※昨年度調査は「コミュニティ・スクールは、公立小・中学校、特別支援学校に導入されていることを知っている」(83.1%)であり、対象校種が今年度調査と異なる。）

16-3. 地域と学校との関係

Q16-3 あなたがお住まいの地域と地域にある学校(小学校、中学校いずれについてでも可)との関係について、あなたはどの程度そう思いますか。そう思う程度を教えてください。(〇はそれぞれ1つ)



地域と学校との関係について、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う(計)』の割合は、「地域住民は、登下校の児童生徒を見守る活動に関わっている」が65.0%と最も高く、次いで「学校は、学校の授業や様々な活動の様子を、学校だよりやホームページで地域住民に知らせている」が60.9%、「地域住民が様々な形で学校に関わることにより、地域住民の元気創出や地域の活性化につながる」が60.6%の順となっている。(※昨年と表記が異なる項目があるため、下記に対比表を掲載する。)

今年度の設問項目	昨年度の設問項目
1. お住まいの地域にある学校は、親しみやすい	4. 学校の教職員は親しみやすい
2. 学校は、学校の授業や様々な活動の様子を、学校だよりやホームページで地域住民に知らせている	2. 学校は、学校の活動や取組を学校だよりやホームページで地域住民に知らせている
3. 学校は、育てたいと思う子ども像や理念を保護者や地域住民と共有しようとしている	(なし)
4. 学校は、地域で行われる行事に協力的である	6. 学校は、地域行事に協力的である
5. 地域住民は、学校で行われる行事に参加している	10. 地域住民が、学校行事に積極的に参加している
6. 地域住民は、登下校の児童生徒を見守る活動に関わっている	9. 地域住民は、登下校の児童生徒を見守る活動に積極的に関わっている
7. 地域住民は、学校の環境整備(花壇整備や清掃活動等)に関わっている	8. 地域住民が、学校の環境整備に関わっている
8. 学校では、地域住民が講師役や先生の補助役となった授業が行われている	1. 学校では、地域人材を活用した授業を行っている(例:ボランティアによる授業補助等)
9. 地域住民が学校や子どもたちの活動に関わると、学校の教育が充実する	11. 地域が学校に関わると、学校の教育が充実する
10. 地域住民が様々な形で学校に関わることにより、地域住民の元気創出や地域の活性化につながる	12. 地域住民が、様々な形で学校に関わることにより、地域の活性化が図られている